

## 達成状況評価書(平成24年度)

部局名:日本語日本文化教育センター

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、プレースメントテストの判定基準を見直すため、ユーロセンター・ベルリン校に教員を派遣し、「ヨーロッパ言語参照枠(CEFR)」の運用方法に関する実態調査を行ったほか、春学期受入の国費学部予備教育留学生と、秋学期受入の国費日本語・日本文化研修留学生及び短期留学日本語日本文化特別プログラム留学生に対して、プレースメントテストの結果に基づき、指導教員・クラスアドバイザーによるガイダンス・履修指導を実施するなど、特筆すべき取り組みを行っている。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、科学研究費補助金の獲得実績が上がるなど積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、教育関係共同利用拠点の日本語連携教育事業として、留学生の受け入れや各種説明会を開催するなど、積極的な取組がなされている。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、学外の共同研究者が授業見学・教育実習指導・教員共同研修等で本センターを共同利用した際の利便性を高めるために、授業見学スペースを有するマルチメディア教室を開設するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p><b>【中期計画の達成状況】</b> 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成24年度は、教育関係共同利用拠点の活動として、「日本語連携教育事業」、「教育実習指導事業」、「教員共同研修事業」の3事業を実施し、日本語既習者教育の充実を図るとともに、教育実習・授業研究の機会の提供を行ったほか、各種説明会、国際フォーラムなどを継続実施し、情報の共有化による大学間連携の強化を図るなど、大学の実績として評価できる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>